

令和4年度 認定こども園いくさと「関係者評価」

園名 認定こども園いくさと

基本理念	一人ひとりを大切に、心豊かに、たくましく生きる子どもを育成する	
めざす子ども像	自然に親しむ子	・五感を通して豊かな感性を育てる。 ・自然体験を通して豊かな感情・好奇心・探究心・思考力・表現力の基礎を培う。
	友達を大切にする子	・人との関わりの中で、自主・自立心及び協調の態度を養う。 ・道徳心の芽生えを培い、お互いに認め合う仲間作りに努める。 ・言葉による伝え合いができるようにする。
	外で元気に遊ぶ子	・遊びを通して、学びに向かう力を育む。[熱中・挑戦・驚き・多様な発想・素直さ等] ・困難に立ち向かう力を育む。
保育教育方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の定着を図り、健康な生活リズムを身につけ、乳幼児期にふさわしい生活を展開する。 ・五感を通しての学びを大切に、生きる力の基礎となる意欲・心情・態度を養う。 ・一人ひとりの発達や育ちを大切に、理解と受容、共感しながら、子どもにとって心豊かで安定した生活の場にする。 ・園小の連携を推進し、小学校への滑らかな接続を図る。 ・職員の資質・専門性の向上を図る。 	

自己評価結果(達成状況)【A:達成している B:概ね達成している C:あまり達成していない D:達成していない】

こども園関係者評価

評価の観点	評価項目(取組内容)	取り組み(達成)の状況	達成状況	改善の方策(今後について)	関係者評価委員から
園運営	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の資質向上 ・計画性のある研修の実施 ○組織体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の充実を図った。 ・市教委主催の公開保育等の研修や、町保協の各学年研修に計画的に職員が参加した。外部講師も計画的に招聘できた。 ・オンライン研修(市・町保協主催)にも振り分けて参加した。 ・研修での学びを午睡の時間や職員会で共有した。 ○報・連・相を適宜行い、書類の個人ケース配布等で、情報を共有し、円滑な組織運営に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修も含め、自主的・意欲的に参加し、学んだことの共有の仕方をさらに工夫し、資質の向上に努めたい。 ・外部講師の招聘は今年並みとするが、市教委指定公開保育のあり方を工夫し、充実させていきたい。 ・月案・週案の有効な在り方について検討し、保育・教育の質の向上に努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営や特別支援教育では、改善方法を聞かせてもらい、素晴らしい対応してもらっている。子どもは毎日楽しく園に通っており「園が楽しい」とも言っている。 ・どんな場面においても子どもたちが生き生きと取り組む様子が見て取れずいいと感じる。
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ○教育・保育課程の作成 ○指導計画の作成・反省 ○発達過程に応じた教育・保育 ○環境を通して行う教育・保育 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育・保育要領に示されたねらい、内容を取り入れた編成を行った。第2回音楽会と感想交流会をセットにして行った(4・5歳)。 ○一人ひとりを大切に、発達年齢に応じた教育・保育に取り組んだ。 ○主体的に子どもたちが活動できる環境を整えるように努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの育ちの過程や興味関心に基づいた関わりがもてるように、「みつめる」「追う」ことにこだわり、遊びや学びの過程の写真的掲示等「見える化」「見せる化」を図る。 ・各クラス運営の交流を活発化するために、「園児たちが主体的に関わる環境作り」に絞って交流に努める。 ・朝の時間や午後の時間における異年齢保育の課題と成果の共有化を探っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五感を使って自然の中で感じ取ることが一番大事であると思う。子どもに対してそこをしっかりとってもらっている。 ・外部講師の方から音楽指導を受けているので声の出し方が違うと感じた。指導を受けたことが身につけていると感じた。外部講師の招聘は続けてほしい。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○親子の育ち合いの場としての役割や機能の充実 ・すくすくひろば開設、子育て相談、講座等の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○「すくすくひろば」を新型コロナ感染防止のため受け入れ組数を制限しながらも目標日数分実施できた。 ・他園との合同開催や講師招聘を行い、気になる家庭には電話をするなどして、子育ての悩み相談等に応じながら、計画的に開催できた。 ・登録園児への通信配布と、HPへの通信掲載、よい子ネット登録等により、園内での子どもたちの様子を啓発できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの第5類移行とともに、氷上地域内「すくすくひろば」同士の交流を活性化していきたい。 ・通信をHPに掲載することや、よい子ネット登録して活用していただくことを継続・推進する。 ・園庭開放等、園内行事等との調整を継続していく。 ・関係機関との連携を図りながら、育児相談・保護者研修等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい子ネットを毎日見ている。外での活動や体験はともありがたい。遊び=学習である。 ・バスで送迎されている保護者は園内環境の季節の装飾など見る機会がないのでよい子ネットで配信してもらえるととても喜ばれると思う。色々工夫されているので保護者の方みんなに見てほしい。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○園舎の安全、安心確保 ・園舎や遊具の安全点検及び管理 ○職員の危機管理能力の向上 ・防災訓練の実施 ○交通安全指導の推進 ○健康観察、健康診断、歯科検診の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各月末の安全点検を実施した。 ○毎月避難訓練を実施した。(火事、地震、水害、不審者)・時間帯、担当者を変え、職員の間で共通理解を図った。(想定に合わせた避難経路を工夫した。) ・屋内消火栓使用訓練、通報訓練も分担して実施した。 ○事故報告書、ヒヤリハット報告書を活用し、事故防止へ繋げた。 ○新型コロナ感染症防止対策を中心に、園児の健康管理に努めた。 ・保健だよりを発行により、感染症対策や健康な生活の仕方を知らせた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練の内容を工夫し、計画的に、あらゆる場で状況判断をし、行動に移すことができるように、危機管理意識を育てるようにしていく。 ・事故報告書やヒヤリハット報告書等で、共有化を図り、事故後の対応について考察を行い、事故防止に繋げていく。 ・欠席園児が増加する時期を見逃さず、保健だよりやよい子ネットを活用し、保護者への感染拡大防止・感染予防意識の向上に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面では、全国的に園に関するニュースが多かったが、いくさともしっかり対応してもらっているとすごく思います。親として不安に思うこともなく安心していきます。 ・保育の様子をビデオで見れないものか。子どもの様子をビデオで見ると保護者も満足されるのではないかなと思う。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの特性や発達課題に応じた支援計画の作成と実施 ○専門機関、教育機関との連携 ○途切れない支援の推進 ・家庭との連携 ・小学校との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援コーディネーターを中心に、個々の園児にあった支援の方法を探った。 ○専門機関との連携を図った。 ・支援の必要な園児と一緒に専門機関に出向き支援の方法を探った。 ・面談の中で保護者の思いを聞き取り、小学校の特別支援コーディネーターや関係機関に繋ぐことで、安心して進級や就学ができるようにした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援の必要な園児には、個別計画を作成し、そのことを共有する場も設定し、必要な支援に努めていく。愛着障害についての理解も深める。 ・巡回相談や支援センター職員等と密に連携をとり、日ごろの教育・保育に取り組むよう心掛けていく。 ・小学校の特別支援CO.や園小接続推進担当、関係機関(アフタースクール職員)との打ち合わせを通して、保護者の思いを大切につないでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミルネに相談に行く際も先生にも付き添ってもらい一緒に話を聞いてもらっている。支援の方法についてのアドバイスにも園ですぐに対応してもらい感謝している。親としては安心している。 ・子どもは毎日とても楽しく園に通っています。
家庭・地域他校種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○信頼される園作り ・情報の発信・受信 ・園行事への積極的な参加の推進 ○小学校との連携 ・互いの学びの場となる計画的な交流 ○地域とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報に留意しながら、情報発信に努めた。 ・一人ひとりの園児に対し、みとったことを連絡帳で知らせた。 ・園だより・クラスだより・給食献立予定表・保健だより等で、取組の意図や様子を発信した。 ・HPやよい子ネットを活用して、園の取組や子どもの様子を具体的に知らせた。 ○参観日・給食試食会(4歳児)を開催した。 ・具体的な子どもの姿を通して、園の教育・保育、給食への理解をもらう機会とした。 ○園小連携 ・計画的に相互の学びを積み重ねていけるように交流を行った。 ・長期休暇中を活用し、職員の相互参観を実施した。1年生授業参観も行い相互の研修で学び合った。 ・アフタースクール職員、東小全職員と、子ども理解をテーマに7月3月の2回合同で研修した。 ○地域交流 ・地域・保護者の方を「栽培の先生」「ダンスの先生」「絵の先生」「料理の先生」としてお迎えし、保育教育や体験活動の充実を図った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿から学ぶだけでなく、保護者の声からも学ぶ体制を整え(中間評価について、保護者会役員と意見交流を行う。)、家庭と園との相互理解を図る。 ・保護者参観日のあり方も工夫しながら、子どもたちの生の姿が見られるようにする。 ・一つひとつの行事(前:前回の反省を踏まえ、後:感想や意見の収集方法をマニュアル化する)を終えた後、反省点をまとめ、振り返ることで、次に向けての改善等を検討していく。 ・計画的な「園小連絡会」を持ち、職員の相互参観、動画活用によるオンライン交流等、今年度並みの事業を継続し、子どもの変容を中心にあり方を検証していく。 ・地域・保護者の方を「先生」として招聘し、体験活動の質を向上させ、つながりを充実させていく。 ・「柏原の郷」との交流も継続し、今後も交流していきたい。 ・月例で自治振興会長・理事・評議員の訪問を受け、本園の取組や子どもの様子を地域の方々に知っていただく機会としていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外や園外での活動の中で、子ども同士のつながりや地域の方とのつながりが出来ている。 ・アフタースクールとの話し合いも、子どもたちの為にできていることはすごいと思う。 ・子どもにあいさつをしない。では身につかない。無理である。まずは、家庭での声掛け、やり取りができていくか。それが出来て次は外であいさつとなる。家庭での声掛けがますます大事になると思う。 ・一点気になっているのは、認定こども園いくさと保護者会と東小学校PTAの連携が全く取れていないこと。東小PTAの規定がいつの間にか変わっていた。こども園の役員には知らされていなかった。同じ地域で運営している中、東小PTAとこども園保護者会のつながりは大切である。報・連・相を大切に。

こども園関係者評価のまとめ

こども園関係者評価を受けての次年度の改善の方向性について

- ・「子どもの姿に学び、保護者の声に学ぶ」姿勢を堅持し、さらに情報発信充実に努める。
- ・働き方改革の質を向上させ、保育・教育の質の向上を図るために、日々努める。
- ・家庭(保護者)・地域(小学校等含む)・こども園との連携を強化し、推進していく。

令和5年3月31日

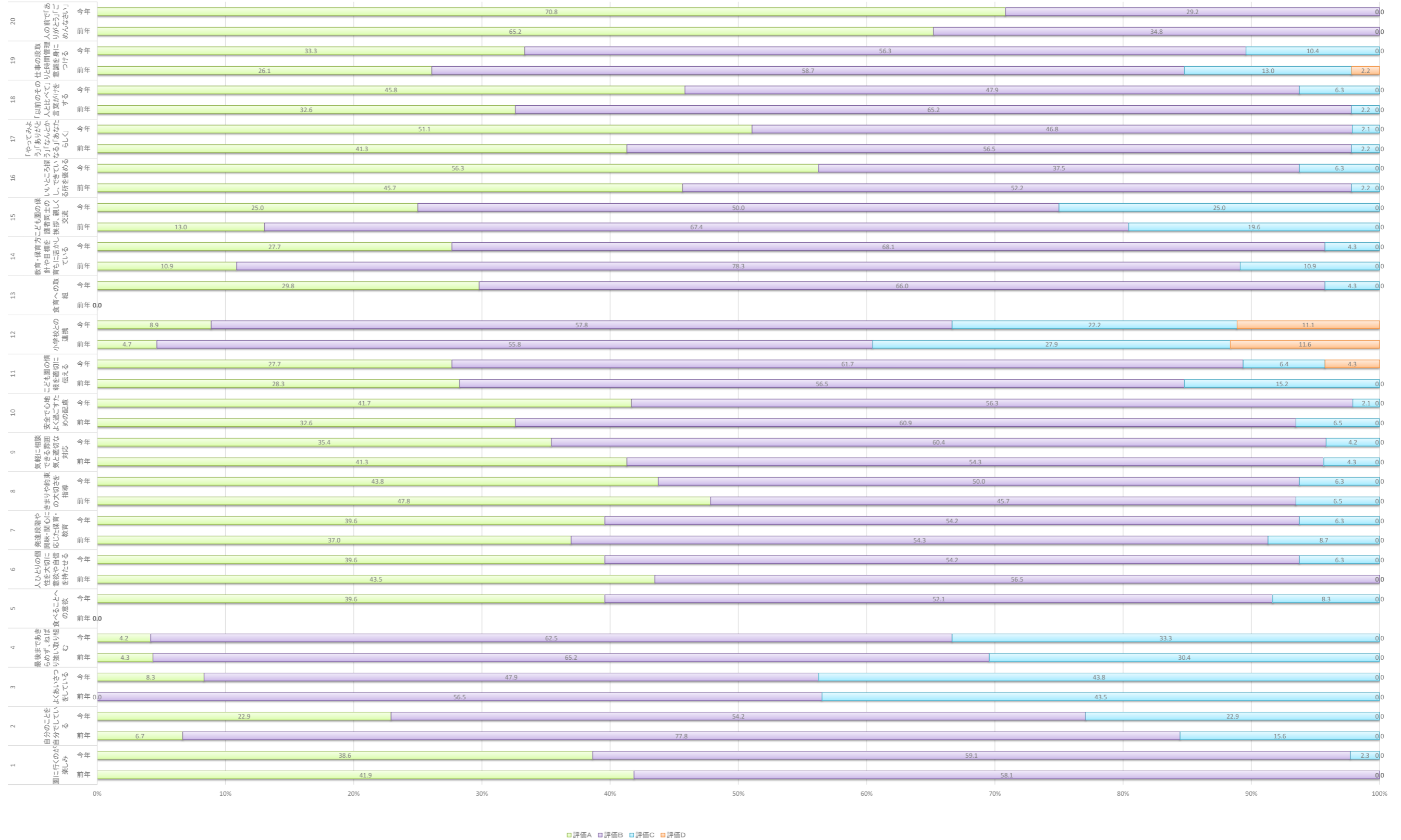
園名 認定こども園いくさと
園長名 安田 和仁



- ・「達成状況」が控えめに「B」となっているが、全て「A」評価としてもおかない。一人ひとりのことを大切にしてみている。「よい子ネット」の発信で、園での取組がよく分かる。
- ・地域での取組にも大変協力的で、「地域の中のこども園」としても根付き始めている。今後ともしっかり連携していきたい。

	1 園が楽しく 行ける		2 自分で自分を 認めていく		3 よき友を 見つけたい		4 最後まで がんばる		5 食生活の 大切さ		6 人の個性を 大切にする		7 発達や興味 に応じた教育		8 きょうだいや お友達との 関係		9 気持ちよく 遊ぶ		10 安全で心地 よい環境		11 適切な情報 を伝える		12 小学校と の連携		13 食育への 取り組み		14 しつけや 生活習慣		15 保護者との 関係		16 いろいろな 遊び		17 いろいろな 活動		18 その人な り		19 仕事や 生活		20 人の前 で	
	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年	前年	今年				
評価A	41.9	38.6	6.7	22.9	0.0	8.3	4.3	4.2	#DIV/0!	39.6	43.5	39.6	37.0	39.6	47.8	43.8	41.3	35.4	32.6	41.7	28.3	27.7	4.7	8.9	#DIV/0!	29.8	10.9	27.7	13.0	25.0	45.7	56.3	41.3	51.1	32.6	45.8	26.1	33.3	65.2	70.8
評価B	58.1	59.1	77.8	54.2	56.5	47.9	65.2	62.5	#DIV/0!	52.1	56.5	54.2	54.3	54.2	45.7	50.0	54.3	60.4	60.9	56.3	56.5	61.7	55.8	57.8	#DIV/0!	66.0	78.3	68.1	67.4	50.0	52.2	37.5	37.5	46.8	65.2	47.9	58.7	56.3	34.8	29.2
評価C	0.0	2.3	15.6	22.9	43.5	43.8	30.4	33.3	#DIV/0!	8.3	0.0	6.3	8.7	6.3	6.5	6.3	4.3	4.2	6.5	2.1	15.2	6.4	27.9	22.2	#DIV/0!	4.3	10.9	4.3	19.6	25.0	2.2	6.3	2.2	2.1	2.2	6.3	13.0	10.4	0.0	0.0
評価D	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	11.6	11.1	#DIV/0!	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0

スタッフアンケート前年同時期との割合比較(2)



令和4年9月1日

保護者様

認定こども園いくさと
園長 安田和仁

保護者アンケート（中間評価）結果のお知らせ

過日に実施しました「保護者アンケート」にご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいた回答について結果の報告を致します。

記

実施期間 令和4年7月13日（水）～7月19日（火）

回収率 90.7%（家庭数144軒・園児数184名）

※ R03【回収率92.0%（家庭数156軒・園児数199名）】

※ R02【回収率95.8%（家庭数171軒・園児数213名）】

※ 回答実数合計は、項目により167～168【R03は175～183、R02は200～204】のブレがあります。

集計結果（表内の数字は、回答実数に対する割合（%）です）

【上段 R02 前期の数字、中段 R03 前期の数字、下段太数字今回】

		A	B	C	D	
子どもの姿	1	お子さんは、園に行くのを楽しみにしている	63.2 63.3 60.7	31.8 32.2 33.9	4.0 3.3 4.2	1.0 1.1 1.2
	2	お子さんは、自分のことを自分でしている（自分でしようとしている姿が見られる）	46.8 49.4 45.2	42.8 41.7 45.2	10.4 6.7 7.1	0.0 2.2 2.4
	3	お子さんは、家族や近所の人、教職員などに、よくあいさつをしている（しようとしている姿が見られる）	30.5 34.4 29.8	44.3 38.3 45.2	20.2 23.5 20.8	4.9 3.8 4.2
	4	お子さんは、最後まであきらめず、ねばり強く取り組むほうである。（取り組もうとしている姿が見られる）	19.2 24.6 28.0	55.7 56.0 46.4	22.7 17.7 23.8	2.5 1.7 1.8
	5	お子さんは、園での様々な体験を通して、食べることへの意欲につながっている（食への関心を高めようとする姿が見られる）。	- - 53.0	- - 36.3	- - 9.5	- - 1.2
園の取組	1	こども園は、一人ひとりの個性を大切に、意欲や自信を持たせていると感じる。	65.0 68.0 66.1	32.5 30.4 31.5	2.5 1.7 2.4	0.0 0.0 0.0
	2	こども園は、子どもの発達段階や興味・関心に応じた保育・教育が行なわれていると感じる。	66.5 68.9 69.8	31.0 28.3 29.0	2.5 2.2 0.6	0.0 0.6 0.6

3	こども園は、集団生活に必要な、きまりや約束の大切さを指導していると感じる。	71.3 71.4 69.6	28.7 25.8 29.8	0.0 1.6 0.6	0.0 1.1 0.0
4	こども園は、いつでも気軽に相談できる雰囲気があり、適切な対応をしていると感じる。	56.9 60.8 65.5	41.1 36.5 28.0	2.0 1.7 6.5	0.0 1.1 0.0
5	こども園は、子どもが安全で心地よく過ごすための配慮（園内の環境美化、安全点検等事故防止、避難訓練）などに努めていると感じる。	70.3 69.1 71.4	29.2 26.5 26.2	0.5 2.8 2.4	0.0 1.7 0.0
6	こども園は、行事予定やクラスだよりなど、主として保護者を対象としたこども園の情報を、適切に伝えることができていると感じる。	67.8 68.3 68.5	30.2 27.8 28.6	2.0 3.9 2.4	0.0 0.0 0.6
7	こども園は、小学校との連携を密にして保育・教育を進めていると感じる。	38.5 45.9 43.7	50.5 42.5 47.3	9.0 10.5 7.8	2.0 1.1 1.2
8	こども園は、食に関する体験を積み重ねることを大切にしながら食育に取り組んでいると感じる。	- - 69.6	- - 29.8	- - 0.6	- - 0.0
9	こども園は、教育・保育方針や目標が、子ども達の育ちに活かされていると感じる。	52.7 60.8 61.3	43.3 36.5 36.9	3.4 1.7 1.8	0.5 1.1 0.0
10	こども園の保護者同士よくあいさつし、親しく交流できていると感じる。	25.1 40.0 33.3	51.7 43.3 44.6	19.2 13.3 19.6	3.9 3.3 2.4
A そう思う B どちらかというと思う C どちらかというと思わない D そう思わない					

考察

子どもの姿：今回も割合で比較した。すると、過去3年間でAとB評価合計が最も高くなったものが1項目、最も低くなったものも1項目、昨年より下がったが、R02年度より上回ったものが2項目であった。概ね良好と判断できる。しかし、挨拶の項目は、年々低くなってきている。各家庭の見方が厳しいのか、具体的取組が取れていないのかが要因と考えられる。

園の取組：概ねご理解をいただいていると言える。過去3年で最も高くなったのが表中の②⑦⑨の3項目あるが、逆に最も低くなった項目は④の一つある。昨年度まで低かった、⑦小学校との連携の項目は、最も高くなっているのは、情報提供ができてきたことが要因と考えられる。R03より上がったがR02より低い項目が③⑤⑥の3つ、R03より低くなったがR02より上回った項目が①⑩の2つであった。

※ 今年度より改訂して、「食育」の項目を入れてご回答いただきましたが、他の項目と比較しても、意識の高い結果が得られたと考えている。今後も比較検討を継続していきたい。

※ 保護者の皆様の貴重なご意見は全て紹介する事を原則にしています。ただ、項目分類上、複数に意見を分けて紹介させていただいている方もあります。（課題項目は丸数字で、好評価項目は片カッコ数字にしています）

令和5年3月13日

保護者様

認定こども園いくさと
園長 安田和仁

保護者アンケート結果（年度末）のお知らせ

過日に実施しました「保護者アンケート」にご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいた回答について結果の報告を致します。

記

実施期間 令和5年1月17日（火）～1月23日（月）

回収率 88.5%（家庭数147軒・園児数191名）

※ 令和3年【回収率89.2%（家庭数160軒・園児数204名）】

※ 令和2年【回収率93.6%（家庭数174軒・園児数218名）】

※ 回答実数合計は、項目により無回答があるため163～169のブレがあります。

集計結果（表内の数字は、その項目ごとの回答実数と実数合計との割合（%）です）

※【上段：令和2年、中段：令和3年、下段：令和4年】

※「子どもの姿No.5」「園の取組No.8」についてのみ、上段は中間評価、下段は年度末評価

		A	B	C	D	
子どもの姿	1	お子さんは、園に行くのを楽しみにしている	71.7 65.9 69.6	26.3 27.4 28.0	1.5 6.1 2.4	0.5 0.6 0.0
	2	お子さんは、自分のことを自分でしている（自分でしようとしている姿が見られる）	47.0 50.0 52.7	47.0 47.3 38.3	6.0 2.2 7.8	0.0 0.5 1.2
	3	お子さんは、家族や近所の人、教職員などに、よくあいさつをしている（しようとしている姿が見られる）	29.6 36.8 40.1	49.2 43.4 32.9	18.1 16.5 23.4	3.0 3.3 3.6
	4	お子さんは、最後まであきらめず、ねばり強く取り組むほうである。（取り組もうとしている姿が見られる）	24.4 29.1 33.9	56.2 51.6 47.0	17.9 18.1 17.9	1.5 1.1 1.2
	5	お子さんは、園での様々な体験を通して、食べることへの意欲につながっている（食への関心を高めようとする姿が見られる）。	53.0 55.4	36.3 35.7	9.5 8.9	1.2 0.0
園の取組	1	こども園は、一人ひとりの個性を大切にし、意欲や自信を持たせていると感じる。	64.5 74.7 78.6	33.0 22.5 20.2	2.5 2.7 1.2	0.0 0.0 0.0
	2	こども園は、子どもの発達段階や興味・関心に応じた保育・教育が行なわれていると感じる。	66.0 71.2	31.0 26.0	3.0 2.8	0.0 0.0

園 の 取 組			78.6	20.2	1.2	0.0
	3	こども園は、集団生活に必要な、きまりや約束の大切さを指導していると感じる。	69.5 73.1 73.8	30.0 25.8 26.2	0.5 1.1 0.0	0.0 0.0 0.0
	4	こども園は、いつでも気軽に相談できる雰囲気があり、適切な対応をしていると感じる。	64.5 64.8 72.0	29.5 31.3 27.4	6.0 3.8 0.6	0.0 0.0 0.0
	5	こども園は、子どもが安全で心地よく過ごすための配慮（園内の環境美化、安全点検等事故防止、避難訓練）などに努めていると感じる。	67.5 74.2 74.2	28.0 24.2 23.9	3.0 1.1 1.2	1.5 0.5 0.6
	6	こども園は、行事予定やクラスだよりなど、主として保護者を対象としたこども園の情報を、適切に伝えることができていると感じる。	73.5 72.4 71.6	24.0 26.0 26.6	2.5 1.7 1.2	0.0 0.0 0.6
	7	こども園は、小学校との連携を密にして保育・教育を進めていると感じる。	45.2 47.3 48.8	44.2 40.7 44.6	9.6 11.5 5.4	1.0 0.5 1.2
	8	こども園は、食に関する体験を積み重ねることを大切にしながら食育に取り組んでいると感じる。	69.6 60.7	29.8 36.3	0.6 1.8	0.0 1.2
	9	こども園は、教育・保育方針や目標が、子ども達の育ちに活かされていると感じる。	53.0 58.2 61.9	43.5 39.6 35.7	3.0 2.2 2.4	0.5 0.0 0.0
	10	こども園の保護者同士よくあいさつし、親しく交流できていると感じる。	27.5 28.0 40.1	46.0 52.7 47.3	23.0 18.7 11.4	3.5 0.5 1.2
	A そう思う B どちらかというと思う C どちらかというと思わない D そう思わない					

考察

子どもの姿：全般において概ね良好である。A評価の割合数字のみをみると、No.2・3・4・5は過去最高となっているが、A+Bで比較すると、No.4のみが過去最高で、No.3は過去最低となる。C+D評価の増減も含めて考察すると、No.2の「自分で」とNo.3の「あいさつ」については、出来ている子とそうでない子の2極化しているようである。「自分でできるようにしよう」「あいさつで反応できるようにしよう」という思いが少なくなってきたのかもしれない。対して、「最後まで頑張れる子にしよう」という思いは、強くなっているようである。

園の取組：全般においてご理解をいただいていると言える。A評価の割合数字のみをみても、No.1・2・3・4・7・9・10と過去最高となり、A+Bで比較してみても、No.1・2・3・4・7・10が過去最高となった。特に、No.10の「保護者同士のあいさつ・交流」については、感覚だけでなく、数字的にも良好となった。実際にそ組で親子活動が実施できたことが要因の一つになっていると考えられる。しかし、No.7「園小連携」、No.9「教育・保育方針の活かされ方」、No.10「保護者交流」については、A評価の割合を増やしていく努力をまだまだ継続していく必要がある。

※ アンケート回収率が年々下がっているのが気になる。各クラス担任への思いもあるだろうと、全園児を対象に配布している。また一部であるが、保育者の個人名や、プライベート(勤務外)の様子にまで及んで意見されていることに関しては、アンケートの目的や常識からズれていると考えますので、控えていただきたい。